

昨年の外部諮問委員会にて いただいたご意見への対応報告

頂いたご意見に対する取組みプロセス

2023年9月： 外部諮問委員会におけるご意見の聴取



2024年7月： ご意見に基づく湘北短大の各学科での取組み状況と
成果を湘北内の自己点検評価委員会に報告



2024年8月： 本日、その内容を外部諮問委員の皆様へ報告

頂いたご意見への対応

ご意見の内容(1)

「若者ならではの目線、感性を活かした取組み」

例：

- ① 動画コンテンツや SNS等を活用し、若い世代に向けた PRとなるようなWEBマーケティング
- ② 中小企業の WEBサイト制作やリノベーション
- ③ 商品開発での連携、「Z世代向けの商品開発」に関する連携
- ④ 厚木市の観光隆盛のため、観光地を学生が訪ね、SNSでレポートする 等

頂いたご意見への対応

部門	総合ビジネス・情報学科
対応と成果	① 学科のInstagramの運用を開始。学生と卒業生にアイコンを考えてもらうコンテストを開催した。「プロジェクト実践」受講者や調査広報委員、湘北ナビによる動画コンテンツの作成を行った。大学や学科のInstagramに投稿し、学科Instagramでは月ごとに一番再生数の多かった投稿を作成した学生に学食1食プレゼントを行っている。 ② 「プロジェクト実践」において厚木市内の店舗などのWEB制作を引き続き行っている。 ③ プレゼミナールにおいて、神奈川県産業振興課後援による「若手起業家によるキャリア講演」を行い、そこにお越しいただいたrainbowholic 株式会社(日本のかわいい文具・雑貨を海外EC販売する事業)とのコラボ企画を行う検討を行っている。 ④ 「観光ビジネス論」において、学生と神田外語学院国際観光科の学生が旅行プランを作成し、実際に観光地を巡る交流授業を実施予定。本学の学生は厚木市の観光地をプランに組み込むため、実践的な学びを得ることのみならず、地域連携を図ることも目的としている。

頂いたご意見への対応

部門	生活プロデュース学科
対応と成果	① 学科のSNSをX(旧Twitter)からInstagramに移行。運用体制を一新し、授業や行事、学生の様子などを発信。 ② ヤクルト厚木販売株式会社様の栄光センター・サロンのリノベーションプランをインテリアデザインコースの1、2年生が検討。空間の使い方の改善等により、お客様、スタッフ共に快適に過ごせる場を提案した。 ③ 小田急SC本厚木ミロードのテナントショップ(婦人衣料)との協働による「ファッションコーディネート対決」を開催。(「ファッションコーディネート演習」の一環) ④ 厚木市企画政策課によるSDGs学習教材「Get The Point」の厚木市版を作成するプロジェクトに学生2名が参加。 厚木市企画政策課からゲームキット教材を借り受けL学科1年生の授業で活用。 厚木市の特産品やSDGs達成に向けた市の取組みについて、カード教材を参考にしながら理解を深めた。 ⑤ 「食の企画」の授業にて、JAあつぎから講師を招き、地元の農産物や地域農業の魅力を学んだ後、夢未市で地元の旬の食材を探し、独自のレシピ作りに取り組み、学内でプレゼンテーションと試食会も実施した。地元野菜に焦点を当てたレシピは、学科Instagramに投稿した。

頂いたご意見への対応

部門	保育学科
対応と成果	① 学科Instagramにて、学生が作成した大学生活を素材としたコンテンツを配信。

部門	地域連携センター
対応と成果	① 各学科や部門の取り組みを広報が集め、X(旧:twitter)、Instagram、TikTok、LINE、YouTube、Facebook、OCストーリーズ(リクルートスタディサプリ内)」を活用し、SNSコンサル業者や広告も活用しながらPR活動を行っている。その内、Instagram、TikTok、YouTubeは平日毎日投稿を実施。 また「動画で知る湘北短期大学」では学校や学びの紹介を3分以内の動画でまとめ、「本学HP」「受験生サイト」のTOPバナーに掲載。 引き続き、見やすさ、伝わりやすさを重視しつつ、適時に情報発信できるよう工夫していく。2024年8月には、高大連携校向けにアンケートを実施し、高校の先生方やSNSの使用頻度の高いものを調べ、より効果的な発信を行っていく予定。 <次のスライドへ続く>

頂いたご意見への対応

部門	地域連携センター
対応と成果	② 総合ビジネス・情報学科・情報メディアコース「プロジェクト実践」で、地域の中小企業のWebサイト制作を実習として行っている。 また、厚木商工会議所と地域中小企業のWebサイト作りで本学学生がアイデアを出し、制作に協力していくという包括的な協定を2023年に締結した。地域の中小企業とのITを活用した交流を促進していく。 ③ 生活プロデュース学科・総合ビジネス・情報学科では、よりZ世代向けに適合するような商品開発を今後も続けていく予定。また、外部機関と連携した取り組みも、各学科で今後検討していく。 既に取り組んでいる内容： ①生活プロデュース学科フードコースの学生が、オープンキャンパスの参加者向けのお菓子を考案。“地元食材を使用した、高校生に喜ばれるお菓子”をテーマにレシピを考えた。学内での試食とアンケートを経て選ばれたお菓子は、8月のオープンキャンパスで実際に高校生に配布した。 ②総合ビジネス・情報学科では、具体的な商品開発には至っていないが、地元企業が開発した商品について、マーケティング戦略論などの授業で広告制作についての連携を進めている。 <次のスライドへ続く>

頂いたご意見への対応

部門	地域連携センター
対応と成果	④ 2025年を目途に、総合ビジネス・情報学科 観光ビジネスコースの学生を対象とした地域観光に関するPBL型授業を計画している。厚木市の観光地を学生に見学してもらい、当該観光地のPRや更なる観光客の動員について学生目線のアイデアを提起できる場にしたい。授業での成果は、学内HPやSNSなどを活用して発信していくことも検討中。

頂いたご意見への対応

ご意見の内容(2)

企業(ソニー)で行っている地域・産業連携の活動 への参加

頂いたご意見への対応

部門	地域連携センター
対応と成果	• ソニー厚木で計画されている活動概要や日程、場所など、詳細が分かれば、生活プロデュース学科(子どもサービスコース)や学友会福祉委員会などで、共同参加を前向きに検討していく予定。(L学科、教務学生部)

頂いたご意見への対応

ご意見の内容(3)

3. 高校との連携

- ① 地域連携と高大連携を絡めた、厚木を宣伝するプロジェクト等
- ② 大学の授業を地域の高校生等が視聴できるコンパクトなオンデマンドコンテンツ

頂いたご意見への対応

部門	地域連携センター
対応と成果	① 「厚木王子高校」との連携において、金融人材育成プログラムをスタートした。高大連携として、厚木地域で活躍する人材育成を目指す。2024年度は、高校生4名が前期の「FP基礎」を受講している。また、厚木市内の商店のPOP広告やメニュー表などを高嶋ゼミの学生が作成しており、今後、厚木市内の連携校とも協力していくことを検討中。(B学科) ② 総合研究センターにて、様々なオンデマンドコンテンツを開発中。開発された中から、高校生向けのものをピックアップして、連携校などに配信していく予定。(総研C)

頂いたご意見への対応

ご意見の内容(4)

4. 保育士養成に関わる取組み
「保育の楽しさを伝える」職場体験活動のような小中学生向けの職場体験等の仲介

頂いたご意見への対応

部門	保育学科
対応と成果	① 厚木市で実施する協同大学の一環として、11月に中学生を対象とした保育の楽しさや仕事の魅力を伝えることを目的に大学にて授業を行うことが決定した。 ② 厚木市保育課との連携の1つとして、市内中学校での保育の仕事の魅力を伝える講演会の内容の検討や配布資料の作成に協力している。



EOF